

新幹線プレス 	2024年9月24日	No.680
	発行者	伊藤一也
	編集者	教宣部
JR東海労新幹線地本		

「東海労を良くする会」と称する悪質な 誹謗中傷文書が明らかになりました

最近組合員の自宅に「東海労を良くする会」という怪文書2通が郵送されていることが組合員からの報告で判明しました。

怪文書の内容は、2通ともJS労・近畿地協定期委員会でのビラ配布・新幹線関西地本のホームページについて、ほぼJR総連の統制委員会設置理由やJR東海労「除名」答申の内容と共通するもので、問題をすり替えた誹謗中傷です。

JS労について「二重加盟」は「解雇」の「可能性」があるなどとでたらめな主張がされています。

近畿地協定期委員会でのビラ配布については、どういう内容のビラか、JR東海労の代議員はどういう発言をしたのかにはまったく触れていません。ビラも発言もJR総連が作成したJS労を否定する「見解」案について問いただしたものです。そのことは完全に無視され、ビラ配布で混乱させたということだけが主張されています。(定期委員会でも終了後の打ち合わせでも、組織混乱・組織破壊などということも議論になっていません)

新幹線関西地本のホームページについても、そこに書かれている近畿地協津崎議長の虚偽の報告や臨時大会の議論の内容にはまったく触れずに、労働組合の正式な会議である臨時大会を「公表する」ことに疑問を投げかけています。JR総連の大会や中央委員会でも会社やマスコミの傍聴を認めているというのに、信じがたい主張と言わざるをえません。

そして「関西地本の暴走」「黙認・同調する本部」「心配する仲間(OBのことか?)」に「反東海労」なるレッテルを張り排除する新幹線地本」と誹謗中傷し、「今の東海労は、私たちがつくってきた東海労ではありません」「仲間の皆さん! こんな東海労で良いのでしょうか?」と呼びかけています。

「良くする」といいつつ、JR東海労の運動と組織を否定し、JR総連のJR東海労除名に賛同するものであり、組織破壊を企てたものであることは言うまでもありません。一致団結して組織破壊攻撃をはね返そう!